

RISOGRAPH MD6650

障害対応マニュアル

HAND BOOK

エラー表示画面になった時に、「*」キーを押してください。
表示されている、エラーコードをサービスマンに連絡ください。
解決が早い場合がありますので、宜しくお願いします。

目次

●障害内容

給紙部紙詰まり	①
解決できない紙詰まり	②
印字汚れ	③
斜め印字する	④
印字品質の劣化	⑤
白抜け印字になる	⑥
画像の印字位置がずれる	⑦
サイズ違いのエラー表示	⑧
ハガキ印刷で多いエラー	⑨
まちつき封筒の印刷方法	⑩

●お得情報

綺麗な印字をするために	A
機械を綺麗に清掃	B
機械の移動	C
プリンタドライバー	D
テストモード	E
エラーコード対策表	F

●障害内容

①紙詰まり (A07-400)(A08-410)

【症状】 「重送検知」された場合は、二枚指ししている。

＜対策＞ 紙を良くさばく。(エア-を入れる)

紙サバキ部の上側の角度調整ダイヤルで調整する。

【症状】 問題なく印字され1枚排紙されるのに、紙詰まりエラーになる。

＜対策＞ 本体の用紙設定とセットしている用紙の長さの相違です。

420mmを超える長尺用紙の印字で必ず起きる現象です。

本体画面の「環境設定」→「ON」→「システム」→「用紙サイズ登録」で

長尺用紙サイズを設定登録します。

本体の用紙設定も登録した用紙サイズに変更することで、エラーが解除できます。

【症状】 一次給紙ローラ幅で、用紙先端が折れる。

＜対策＞ 紙サバキ角度が大きいため、角度調整を小さくします。(上部ダイヤル)

[症状] ①用紙が給紙口でZ折れしている。

<対策> 「特殊用紙設定」で用紙のたるみ量を少なくします。

**《注意》 必ずプレスローラおよびドラムのマスターが汚れます、
清掃するか10枚ほどテストプリントをすること。**



プレスローラ

[症状] ②用紙が給紙口でZ折れしている。

<対策> 横目の場合は、縦目に変更するか、用紙に腰をつけます。

**《注意》 必ずプレスローラおよびドラムのマスターが汚れます、
清掃するか10枚ほどテストプリントをすること。**

[症状] 用紙がドラムに貼り付く。

<対策> 先頭部分にベタ印字が多いと、この現象になります。

画像を180°回転させて製版から印刷をするか、

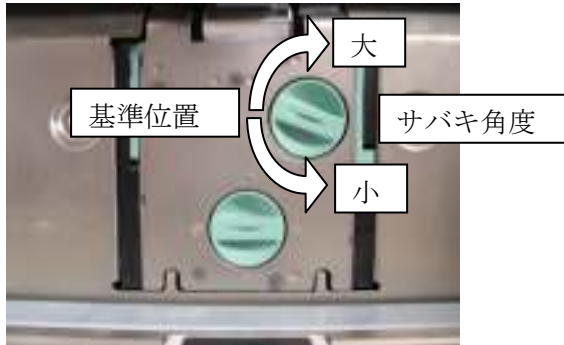
先頭から10mm程の余白を取るようにデータの変更をしてください。

【症状】 一次給紙サバキ部で、用紙が詰まる。

＜対策＞ 紙サバキ角度が大きいため、サバキ角度調整を小さくします。（上部ダイヤル）

封筒の場合は、サバキ角度を小さくしておきます。（紙粉防止にもなります）

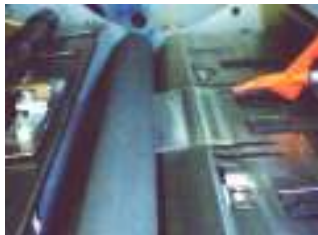
**《注意》 必ずプレスローラおよびドラムのマスターが汚れます、
清掃するか10枚ほどテストプリントをすること。**



【症状】 プレスローラの右側下奥に用紙が丸まっている。

＜対策＞ 用紙の腰が無いいため、腰をつけます。

3cm幅で長さ10cm程のフィルムを、中間搬送部の斜めになっている部分に、プレスローラに干渉しないように両面テープで貼り付けても効果が有ります。



[症状] 一次給紙サバキ部で、封筒（用紙）が詰まる。

＜対策＞ 紙詰まり時に封筒を強引に引き抜いた時に、

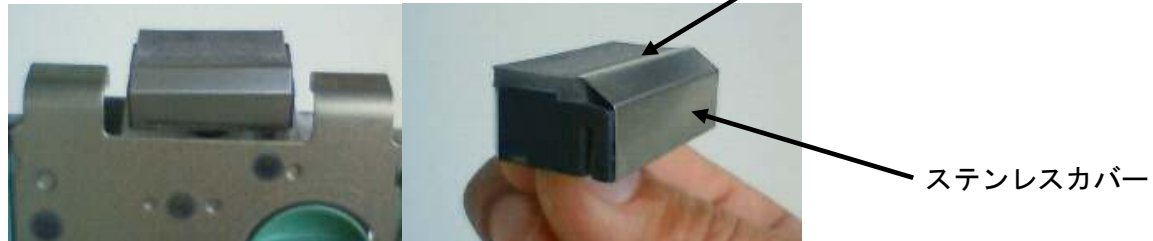
紙サバキ部ステンレスカバーが損傷する場合があります。

紙サバキ部を取外し、ステンレスのカバーを手で矯正して取付け直してください。

直し方が解からない場合は、サービスマンに連絡してください。

《注意》 必ずプレスローラおよびドラムのマスターが汚れます、

清掃するか10枚ほどテストプリントをすること。



角度を鋭角側に付ける



隙間を小さくする

【症状】 用紙がドラムに貼り付く。

＜対策＞ 先頭部分にベタ印字が多いと、この現象になります。

画像を180°回転させて製版から印刷をするか、先頭から10mm程の余白を取るようデータの変更をしてください。

【症状】 厚紙（ハガキ）が給紙されない。

＜対策＞ 一次給紙部の手前側のローラの問題です。

取外してローラクリーナなどを使用して清掃してください。

改善されない場合は、新しい給紙ローラと交換してください。

（保守契約時無償対応）

【症状】 厚紙（ハガキ）または薄紙や裏半紙が紙詰まりエラー（A08-410）（A48-410）。

＜対策＞ ドラムから用紙を剥がすためにブローアでエアを出しているのが問題です。

ブローアからのエア圧力で、ハガキが搬送時にあばれやすくなり、中間搬送部または排紙部の用紙センサーで、用紙の浮き具合に反応してしまうエラーです。

「特殊用紙設定」メニューの中にある、エアブローを全て「OFF」にして、印刷を開始してください。

【症状】 途中から紙詰まりエラー頻発（A08-410）（A48-410）。

＜対策＞ 中間搬送部または排紙部にあるセンサーおよび反射布の汚れが原因です。

特にスプレー粉を使用していると起こりやすい現象で、スプレー粉がセンサー反射布に付着している可能性があります。

ウエスまたは静電気除去モップなどを利用して清掃をしてください。

②解決できない用紙詰まり

【症状】 排紙部の紙詰まり（A09-417）表示で印刷できない。

＜対策＞ スプレー粉や紙粉が原因で、排紙部センサーおよび中間搬送部のセンサーが汚れてしまう現象です。

分解清掃が必要な場合もありますので、サービスマンに連絡してください。

（保守契約時無償対応）

通常は、点検訪問時に清掃を実施しますが、スプレー装置の使用頻度にもより短期間で起こりえる現象です。

【症状】 封筒で給紙部での用紙詰まり

＜対策＞ 封筒印字側の先端部全体が折れ曲がりの癖が付いてる封筒があります。封筒のケースの中で折れ曲がりの癖が出てしまいます。

先端の折れ曲がり部を真直ぐに矯正することで問題なく通紙は出来るようになりますが、仕事としては成り立ちません。

封筒メーカーに連絡をして、折れ曲がっていない封筒と交換してもらいましょう。

なお、封筒入荷の場合には、必ず確認することをお勧めします。

機械の故障ではありませんので、ご安心ください。

③印字汚れ

【症状】 給紙部で紙詰まりがあった場合。

＜対策＞ プレスローラが汚れます、下記項目を参照ください。

【症状】 10cm 間隔で汚れが付く、表面と裏面。

＜対策＞ プレスローラを洗い油またはローラクリーナーを使用してインキ汚れを清掃してください、
普通紙はプレスローラに巻き付き、エラーの原因になりやすいですので、
乾いた布で拭いた後はスプレー粉または紙粉を摺り付けて滑りやすくしてください。
ドラムに付いているインキ汚れを清掃します、
製版部を汚す場合は10枚程度印字テストをしてください。

【症状】 両面印刷時の裏面印字で印字面に汚れが出る。

＜対策＞ 給紙ローラの押さえ付けで乾いていないインキを印字面に摩り付け汚してしまいますので、
インキが乾くの待つかありません。
スプレー装置は使用しないほうが、乾きは早いです。
ドラムのインキ吐出量の調整も出来ます、サービスマンに連絡してください。
(保守契約時無償対応)
年に一度は乾きの確認することをお勧めします、ご要望があれば対応します。

【症状】 封筒両面印字で裏面印刷時にサバキ板の幅で汚れが付く。

- ＜対策＞ サバキ板に裏面のインキが付着して汚れてしまいますので、サバキ板にテフロンテープを貼り付けて摩擦を少なくすることで解消します。当然ですが、インキが乾くのを待つのも良いでしょう。特に、雨天で湿度が高い場合はサバキ板にテフロンテープを貼り付けると効果があります。

【症状】 封筒や厚紙印字で先頭のカドや側面に汚れが付く。

- ＜対策＞ 封筒や厚紙のカドでマスターが損傷してインクが漏れることが原因です。セロハンテープ等を利用して、マスターに補強をしてご使用ください。

【症状】 スキャナ製版時に、不要な罫線や点々汚れがでる。

- ＜対策＞ スキャナのガラス面の汚れが原因です。アルコールなどで綺麗に拭いてください。マスターをそのまま利用したい場合は、マスターに製版されている汚れの部分にセロハンテープ等を貼り付けて不必要な製版部分を隠してください。

【症状】 パソコンからの製版時に、不要なトンボ等の消し忘れがある場合。

- ＜対策＞ マスターをそのまま利用したい場合は、マスターに製版されている不要な製版部分にセロハンテープ等を貼り付けて不必要な製版部分を隠してください。セロハンテープ等が貼り難い場合は、専用の理想修正液(別途販売)もあります。

④斜め印字する

【症状】 封筒印刷で長3および長4封筒で横貼りの場合は印字が斜めになりやすい。

- ＜対策＞ 一次給紙から二次給紙へ用紙を搬送する時のたわみ量が多すぎ、
貼り合わせた側の反発力が強いいため、二次給紙への送り込みが早くなり、
斜行したままドラム部へ搬送されるのが原因です。
特殊用紙設定で「たわみ量」を少なくします。
機械によって異なりますが、「-12」から「-8」が良いようです。
たわみ量を少なく過ぎると、二次給紙部で用紙が詰まりますので、限界の目安になります。
二次給紙部での紙詰まりの場合は、プレスローラが汚れますので、清掃をお願いします。

【症状】 封筒印刷で長3および長4封筒で印字が斜めになりやすい。

- ＜対策＞ 用紙厚さ85クラスの封筒は斜めに入りやすい傾向があります。
斜行が多い場合は、ブラ板を加工して取付けることで、収まる場合があります。
サービスマンに相談してください。

【症状】 普通紙印刷で画像の印字が斜めになり、表裏が最初からずれている。

- ＜対策＞ ドラムと製版部の平行度の調整が必要です、サービスマンに連絡してください。
(保守契約時無償対応)

【症状】 普通紙印刷で画像の印字が最初は平行だが、印刷すると斜めにずれていく。

＜対策＞ ドラムと本体部の平行度の調整が必要です、サービスマンに連絡してください。

(保守契約時無償対応)

⑤印字品質の劣化

【症状】 厚紙や封筒印刷で文字が太ったり、平網箇所が線状に印字される。

＜対策＞ ドラムで印字した後に、ドラムから剥がす工程で用紙が暴れる場合があり、
一定に剥がれない為にゴースト印字になります。

最初に、印字速度を「おそく」します。 例：「3」 → 「1」

改善されない場合は、「特殊用紙設定」の「特殊排紙調整」でエアブローと分離ファンを全て「OFF」にします。

【症状】 印刷途中で印字画像が汚れのように悪化する。

(普通紙：4,000枚以上、封筒：1,500枚以上が目安)

＜対策＞ ドラムのマスターの印字限度です、再製版で新しいマスターを製版してご使用ください。

⑥白抜け印字になる

【症状】 印刷中にセンター付近の2cm幅内が白抜けしだす。

＜対策＞ 給紙部のサバキで印刷用紙の紙粉が良く出ます、その紙粉がドラムまで到達して、
製版印字部分に貼り付くためです。

一次給紙部の取外し清掃と普通紙を通紙することで、用紙通紙部の紙粉清掃をします。

《注意》 マスターは新しく「再生版」してご使用ください。

【症状】 1枚目のテストプリントから一部白抜けしている。

＜対策＞ ドラムとマスターの間に異物が挟みこまれている場合があります。

マスターを排版した後およびマスターを巻き付ける時などに、紙片や紙粉を挟みこむ場合があります。

ドラムからマスターを剥がし、ドラムに付着している紙片や紙粉を取除いてください。

《注意》 マスターは新しく「再生版」してご使用ください。

[症状] 製版後のテストプリントの先頭から後端まで白く筋になって印字される。

＜対策＞ サーマルヘッドに紙粉等の汚れが付着しています、柔らかい布で拭き清掃をします。



オレンジのライン下部分
を清掃して下さい。

⑦画像の印字位置がずれる

【症状】 印刷中5枚に一度の割合で、印字位置が変わる。印字しなくなる。

＜対策＞ 印刷用紙のサイズと本体設定用紙サイズの長さが異なることが原因です。

特に、本体側の設定用紙サイズが大きい場合に起きる現象です。

可能な限り、印刷する用紙サイズと本体の設定用紙サイズを同じにすることをお勧めします。

⑧サイズ違いのエラー表示

【症状】 製版前や印刷前に用紙サイズの設定の違いによる、汚れ防止エラーがでる。

＜対策＞ パソコンでの印刷用紙のサイズと本体設定用紙サイズおよび本体給紙部にセットした用紙サイズが全て同じ長さになる様に設定調整することが必要です。

初心に戻って、使用する用紙サイズの登録を確認してください。

【症状】 規格サイズ以外の用紙サイズを使用する場合は、製版時にエラーが出る場合がある。

＜対策＞ 給紙台に印刷用紙を積み込んだ時に、プリンタ画面の「用紙(標準)」が「不定形」表示になった場合は、用紙サイズを登録して、登録したサイズ名を呼び出してから、製版および印刷作業を行ってください。

特に縦置きでA4サイズ以下の寸法でフェンスを固定した場合に、2色印刷が出来ないエラー表示が出る場合があります。

⑨ハガキ印刷で多いエラー

【症状】 紙詰まりエラー時に、中間搬送部（A08-410）、排紙部（A48-410）の用紙搬送で、搬送ベルトに吸着された用紙が浮いて搬送された場合に出るエラーです。

＜対策＞ 最初は、ハガキのカール(反り)を矯正して平らにする。

改善されない場合は、印字速度を「おそく」します。 例：「3」→「1」

それでも改善されない場合は、「特殊用紙設定」の「特殊排紙調整」でエアブローと分離ファンを全て「OFF」にします。

【症状】 年賀状で十二支など、イラストのベタ印刷で裏移りする。

＜対策＞ 「機能一覧」の中にある「インターバル印刷」を「ON」にして、ドラムの空転数を多くすることで、回避できる場合があります。

お勧めとしては、インターバル印刷を「ON」にして、合い紙を挟みこむことで裏移りを回避させることができます。

乾燥(速乾ブラックの場合:約30分程)後、合い紙を取るのが面倒ですが、ハガキを交換に出す手間賃を考えると……楽かも！

⑩まちつき封筒の印刷方法

【症状】 2色の場合は用紙が正常に搬送されるが、1色印刷を1胴目で印刷すると必ず用紙が詰まります。

＜対策＞ 封筒の折り目などの厚みがあるため、2胴目以降の搬送各部で干渉して正常に搬出されません。

1色印刷の場合、1胴目は機密処理を施し、2胴目に画像を印字させます。

1色印刷時でも、印刷をする場合は2色印刷の指示で、1胴目で封筒を2胴目に送り込み、2胴目で印字させて排紙部へ送り出すようにすることで、印刷行為は可能になります。

なお、印字表現は封筒貼付部および折込部などが印字箇所にあたると、印字が濃くなります。全体に平網出力すると不良箇所が良く判ります。印字状況を判断した後、版下設計およびデータ制作をお願いします。

●お得情報

A. 綺麗な印字をするために

理想科学工業製で弊社販売のHGインキを使用したドラムは、1週間以上使用しない場合にインキが柔らかくなり、乾き具合も悪くなる上に濃度も変わりやすくなる性質があります。

製版が終わりテスト印刷をされた後に、約30枚から50枚ほどテストプリントをしていただき、柔らかくなったインキを循環させることで、練り直されたインクで印字が行えるようになり、濃度も安定し、乾きも良くなります。

是非お試しくださいようお願いします。

また、マスターの使用限度は、

「普通紙90kgくらいまでなら約4,000枚」

「普通紙90kgを超えるものは約2,500枚」

「封筒は約1,000枚から1,500枚」

としていますので、それを目安としてご利用ください。

なお、封筒や社内で断裁した用紙は紙粉がでやすいため(印字先頭位置から10cmあたりを注意)、約500枚を超えた頃から印字状態に注意しておいてください。

B. 機械を綺麗に清掃

プリンタ本体内部には紙粉やスプレー粉で汚れが目立つと思います。

下記に弊社で使用している清掃用具を記します。宜しければご準備いただき、使用後は綺麗に清掃をしてみてください。

1. ウェス（弊社にて販売中）
2. 静電気防止用モップ（ダイソーなど100円ショップのもので十分です）
3. 工業用アルコール（外装およびスキャナガラス面の清掃用で弊社にて販売中）
4. ローラークリーナ（給紙ローラやプレスローラの清掃用で弊社にて販売中）(ホリゾン製またはミスタークリーナーINC製等)
5. 歯ブラシ（一次給紙ローラの清掃用です、あれば便利です）

C. 機械の移動

プリンタ本体下部には、キャスターが着いています。床の上で押しながらの移動であれば特に問題はありません。設置場所はできる限り水平な箇所への設置をお願いします。

なお、どうしても斜めに傾けなければ移動できない場合や運搬車を利用して遠隔地への移動がある場合は、製版部の固定およびドラムの平行度確認が必要になりますので、サービスマンに連絡してください。

D. プリンタドライバー

パソコンが追加になった場合やOSの再インストールを行った場合、プリンタのインストール設定が必要になります。

新しいプリンタドライバーは理想科学工業株式会社のホームページに保管されています。パソコンのOSとご使用の機種名を確認いただき、ダウンロードして取扱説明書を確認しながらインストールを行ってご使用願います。

なお、インターネットルータが機種変更になった場合は、プリンタのTCP/IPアドレスの確認をしていただき、インターネットルータのTCP/IPアドレスを現状に合わせか、プリンタのTCP/IPアドレスを適時変更願います。

E. テストモード

印字を濃くしたい、または薄くしたのでプリンタの濃度キーを操作したが改善できないといった連絡があります。

通常では説明しない操作内容ですが、テストモードで機械の設定内容を変更することで、思いに近づける場合がありますので、

変更前に必ず弊社サービスマンに連絡をお願いします。

また、変更箇所は必ず弊社設置の保守点検表への記載をお願いします。

F. エラーコード対策表

F-1. T タイプエラー(サービスマンエラー) ※機械が復帰しなければ、サービスマンに連絡してください。

T01/T41-5〇〇 [メインモーターロック] (第1側/第2側)

「リセット」キーを押して復帰するか確認します。

T02-4〇〇 [エレベーターモーターロック] 給紙台の昇降動作ができない様です。

「リセット」キーを押して復帰するか確認または、用紙を取除いて自動的に下降するか確認してください。

T03/T43-5〇〇 [クランプモーターロック] (第1側/第2側)

「リセット」キーを押して復帰するか確認します。

T04/T44-513 [オーバーフロー] (第1側/第2側) ドラムの中でインクがあふれています。

「リセット」キーを押して復帰するか確認します。

上記以外のTタイプエラーの場合、「リセット」キーを押して復帰しない場合は、サービスマンに連絡してください。

F-2. A タイプエラー(紙詰まりエラー)

A01-2〇〇 [マスター送リエラー] マスターが詰まりました。

製版ユニットを引き出してマスターを巻き戻し、もう一度セットしてください。

A02/A42-509 [第1/2側 着版ミス] マスターがドラムに着版できていません。

ドラム1/2を引き出して、マスターを取除いてください。

A04/A44-303 [第1/2側 ドラム上マスター確認] マスターの排版ができていません。

ドラム1/2を引き出して、マスターを取除いてください。

A05/A45-3〇〇 [第1/2側 排版部マスター確認] 排版部にマスターが詰まりました。

排版ボックス1/2を引き出して、詰まったマスターを取除いてください。

A06-403 [給紙台確認] 給紙台の安全スイッチが働きました。

給紙台の周りを確認して、用紙も再度セットしなおしてください。

- A07-4〇〇 [給紙ミス] 一次給紙部の用紙給紙エラーです。
点減している場所を確認して、用紙を取除いてください。
① サバキの角度を調整をしましょう。
② 厚紙や腰の強い用紙の場合は、レバーを「厚紙」にしましょう。
③ 特殊用紙設定でたるみ量を調整しましょう。
④ サバキ部のステンレスカバーの損傷具合を確認しましょう。
⑤ 用紙をさばくか、腰を付けましょう。
- A08/A48-410 [第1/2側 排紙舞い上がり] 用紙搬送またはセンサーの誤動作です。
点減している場所を確認して、用紙を取除いてください。
① 中間搬送部または排紙部のセンサーの汚れが原因です。センサーおよび反射布の清掃をしましょう。
② 厚紙や封筒の場合、特殊用紙設定でプロアーを「OFF」にしましょう。
- A09-4〇〇 [排紙ミス] 排紙部で用紙が詰まりました。
点減している場所を確認して、用紙を取除いてください。
① 排紙台の用紙ガイドが、印刷用紙サイズより狭い場合がほとんどです。用紙サイズに合わせましょう。
② 厚紙や横目で腰の強い用紙は、一次給紙部の用紙圧レバーを「厚紙」にします。
排紙部のガイドが突起しなくなり、用紙が排紙されやすくなります。
- A16/A56-525 [第1/2側 マスター除去待ち] ドラムにマスターが残っています。
ドラムにテープを貼った場合によく起こります。ドラム1/2を引き出して、マスターを取除いてください。
- A17-209 [カッター不良] 製版ユニットでトラブルが発生しました。
マスターを製版ユニットから取り出して、製版ユニットを閉めます。
復帰後、マスターをセットしなおしてください。
それでも駄目な場合は、カッターの交換になります、サービスマンに連絡してください。

- A25-4〇〇 [中間搬送ミス] 中間搬送部で用紙が詰まりました。
点滅している場所を確認して、用紙を取除いてください。
- ① ドラムにマスターが巻き付いている場合が有ります、印刷先頭部にベタの画像がある場合は、180°回転させて再製版してください。
 - ② プレスローラに巻きつく場合が有ります。用紙が横目の場合は、縦目の用紙を使用するか、腰を付けるようにしてください。それでも駄目な場合は、プレスローラがベタついている可能性があるため、紙粉またはスプレー粉をウェスに付けて拭いてください。
- A34-218 [マスター再セット待ち] マスターが正しくセットされていません。
マスターの先端を挿入口に差し込んでから、製版ユニットを閉めてください。

F-3. B タイプエラー(オフション系エラー)

- B29-926 [USB メモリ: 未対応デバイス(HUB)] 未対応の USB HUB がセットされました。
- B30-910 [USB メモリ: 未対応デバイス] 未対応の USB がセットされました。
- B31-9〇〇 [ネットワークケーブル未接続] ネットワークケーブルが抜けています。

F-4. C タイプエラー(消耗品関連)

- C01 / C41-5〇〇 [第 1 / 2 側 インクボトル交換] インクが無くなりました。
新しいインクに交換します。
- C02-2〇〇 [マスターロール交換] マスターが無くなりました。
新しいマスターロールに交換します。
- C03 / C43-3〇〇 [第 1 / 2 側 排版 BOX 満タン] 排版 BOX がいっぱいになりました。
排版 BOX を取り出して、マスターをゴミ箱に捨ててください。(燃えるゴミで可能です)

C04-402 [用紙無し] 給紙台に用紙が無くなりました。

用紙を追加セットしてください。

C05-317 [排版 BOX 両側満タン] 両方の排版 BOX がいっぱいになりました。

両側の排版 BOX を取り出して、マスターをゴミ箱に捨ててください。(燃えるゴミで可能です)

F-5. D タイプエラー(セット SW 関連)

D タイプのエラーは、前扉を閉めていない、ドラムをセットできていない等、単純なエラーです。
内容を確認して、対処することで解決します。

F-6. それ以外のエラー

E タイプ以降のエラーに関しては、サービスマンに連絡をお願いします。
訪問修理が必要になります。

